

神様からの贈り物

奈良県 天川村立洞川中学校

二年 小屋 香菜子

「お父さんな、小さい時から不思議に思ってる事があるねん。大峯山のとっぺんに小川が流れてんねん。ずっと気になっけてん。」

「へー。写真取ってきてよ。」

私はある日の父の話に興味をもち、その小川のことを知りたくなりました。

大峯山は昔から修験道でもあり世界遺産に登録された大峯奥駈道のうちの一つです。女人禁制で私は登れないので父に頼みました。

この小川を考えるうちに、いろいろな想像をしました。小川はお堂の近くに流れていることなので、私は修行する人のご神水なのかなとふと考えました。水は、土や砂ならしみ込んで下に行くのですが、岩にあたるとしみ込んで行く場所がなく湧いてくるようです。大峯山は岩山なので、水が湧いてきたと考えられます。なぜ岩山の山頂なのに、水がかれないのか不思議に思い父に聞いてみました。「この洞川が、緑に恵まれ木の根が水を保水してくれるからかな。それに、紀伊山脈は日本でも雨量が多いから、たまたま条件が重なったんかな。」

ということでした。

私は父からこの話を聞き、どうしてもその小川が見たくなりまりました。だから、龍泉寺という洞川のお寺に、写真がないか訪ねに行きました。写真はありませんでしたが、院主さんにお話をうかがうことができました。

院主さんのお話では、小川は千年以上前から流れているそうです。山の中に水脈があり、表に出る事は滅多にないのですが、たまたま出たのがこの小川だと言うことです。だからそこに、宿坊を造り昔はその小川の水を参詣者が使っていました。今は宿坊がないため使われてないそうです。院主さんもここに小川が流れているということが不思議に思っているとのことでした。

地層の科学でいえば、たまたま小川になったのでしようが、話を聞いて私にはやはり意味のあるご神水に思えました。

私の住んでいる洞川は山間へき地の小さな村にあり、水の綺麗な所で名水百選に「ごろごろ水」「泉の森」「神泉洞」と三つも選ばれています。

その中で今回は、昨年もらった川の水調査セットを使い、「ごろごろ水」「泉の森」の水質について調べることにし

ました。

川の水調査セットでは、「COD」、「アンモニウム態窒素」、「亜硝酸態窒素」、「硝酸態窒素」、「リン酸態りん」の五項目を測ることができません。この五項目では、水が綺麗か汚いか判断することは出来ません。しかし、この測定値から色々なことが分かります。

五項目のうち「アンモニウム態窒素」、「亜硝酸態窒素」、「硝酸態窒素」の三つからは、上流やすぐ近くで汚れが流れ込んでいないということが分かるそうです。

「りん酸態りん」では、外から急激に食べ物のカスや肥料などの汚れなどが入ってきていないことが分かります。「COD」からは、水の中に反応しやすい物質があることが分かります。両方の水とも、どれも無色透明に近く汚染が少ないことが分かりました。洞川では水源地という自覚もあり、なるべく生活排水を流さないように下水処理場を建てました。しかし、聞くところによると全国にはまだまだ汚れた河川があるようです。それは、大気汚染・生活排水・生態系の変化など要因はたくさん考えられます。

私たちは豊かな水は当たり前ではなく素晴らしいものだということをわすれていませんか？

大峯山にできた小川は、生きる原点の水だからこそやはりご神水だと思うのです。水源地に住む私たちは、水を守るためにまず緑や自然を守っていかうと思います。

そして、みなさんが水の大切さを改めて確認し、自分たちの生活を見直す機会を持ってくれれば嬉しいです。